

I 全国学力・学習状況調査の概要

- 1 調査の概要
- 2 令和3年度の具体的な設問例

1 調査の概要

(1) 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

(2) 調査実施日

令和3年5月27日(木)

(3) 本県の実施状況

公立小学校	756校	第6学年(648校)	第6学年)
公立中学校	363校	第3学年(310校)	第3学年)
合 計	1,119校	(958校)	

※義務教育学校・特別支援学校を含む

※()内は千葉市を除いた数

(4) 調査内容

①教科に関する調査

- ・小学校 国語、算数
- ・中学校 国語、数学

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ・児童生徒に対する調査
- ・学校に対する調査

2 令和3年度の具体的な設問例

調査問題自体が学校の教員や児童生徒に対して土台となる基礎的な事項を具体的に示すものであり、教員による指導方法の改善や児童生徒の学習改善・学習意欲の向上などに役立てるという視点から、新しい学習指導要領が求める育成を目指す資質・能力を踏まえ、具体的なメッセージとして示すものとなる問題が出題されている。

(1) 小学校国語

具体的な設問例

○【話すこと・聞くこと】調べたことについて、資料を使ってスピーチをする
(大問1 津田梅子の紹介)

三 目的や意図に応じ、資料を使って話す問題

【スピーチ】の練習で、資料を使って話す内容として適切なものを選択する問題

- 1 黒丸の印(・)の分布が示すように、教師になった卒業生は、一生懸命に学びました。
- 2 黒丸の印(・)の分布が示すように、教師になった卒業生は、日本のさまざまな地域で働きました。
- 3 黒丸の印(・)の分布が示すように、教師になった卒業生の数は、年ごとに増えていきました。
- 4 黒丸の印(・)の分布が示すように、教師になった卒業生の勤務校は、一部の地域にかたよっていました。

正答率:81.1%



指導改善のポイント

目的や意図に応じて、資料を選択し、聞き手に提示する資料のどの部分に着目してほしいのか、どのような説明を加えると話の内容を分かりやすく伝えられるのか等について検討し、自分の表現に生かすことができるように指導することが大切です。

(2) 小学校算数

具体的な設問例

○【変化と関係】日常の事象を数理的に捉え数学的に表現・処理すること
(大問1 地域めぐり)

(3) 速さを求める除法の式から、商の意味として適切なものを選ぶ問題

正答率:56.0%

道のりと時間		
	道のり (m)	時間 (分)
㉗ インターネット	1600	20
㉘ たけるさんたち	500	7

どちらのほうが速いかを調べるために、下の計算をしました。

㉗ インターネット $1600 \div 20 = 80$
㉘ たけるさんたち $500 \div 7 = 71.4 \dots$

上の計算からどのようなことがわかりますか。

1 1分間あたりに進む道のりは80mと約71mなので、㉗のほうが速い。

2 1分間あたりに進む道のりは80mと約71mなので、㉘のほうが速い。 … 22.8%

3 1mあたりにかかる時間は80分と約71分なので、㉗のほうが速い。 … 6.8%

4 1mあたりにかかる時間は80分と約71分なので、㉘のほうが速い。 … 9.4%

(5) 速さと道のりを基に、時間を求める式に表す問題

(正答) <式> $2700 \div 540$

正答率:85.2%

指導改善のポイント

速さを比べる場合には、伴って変わる二つの数量の関係に着目し、それらの関係を用いたり、単位量当たりの大きさの意味及び表し方を理解し、単位量当たりの大きさを用いて比べたりできるように指導することが大切です。

(3) 中学校国語

具体的な設問例

○【読むこと】文学的な文章を読む
(大問3 「吾輩は猫である」)

三 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する問題

正答率:71.5%

・「反対の結果を呈出した」について、このことが分かる「黒」の様子を文章の中から抜き出す。

(正答例)

- ・彼は喟然として大息するという
- ・すこぶるおこったようすで背中の中を逆立てている

指導改善のポイント

文章の内容を理解したり自分の考えを形成したりする力を身に付けるため、「読むこと」の学習過程を意識しながら、例えば、文学的な文章を読んで考えたこと等を記録したり伝え合ったりする言語活動を通して指導することが効果的です。

(4) 中学校数学

具体的な設問例

○【資料の活用】与えられたデータから中央値を求めること
(大問5 資料の散らばりと代表値)

(2) 与えられたデータから中央値を求める問題

正答率:84.4%

下の記録は、ある中学校の男子生徒10人が反復横とびを20秒間行ったときの結果を、回数の少ない方から順に並べたものです。

記録

43 46 46 52 53 55 56 56 56 57

(単位:回)

(正答) 54(回)

反復横とびの記録の中央値を求めなさい。

指導改善のポイント

相対度数の必要性や意味を理解するために、大きさの異なる2つ以上の集団のデータについて、その傾向を比較する活動を充実することが大切です。